

常 建 土 号 外
平成20年10月21日

国土交通省 道路局長 様

常滑市長 片岡 憲



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

菊花の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ご依頼のありました標記につきまして、意見・提案を送付いたしますので、宜しくお願いいたします。

記

1. 提出物 様式1～4

○担当 建設部土木課 道路担当 相武 電話 0569-35-5111 内線 225

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的かつ重要な社会基盤施設であり、安全で安心できる社会の実現には、市民共有の社会基盤である道路を計画的に整備・維持管理することがきわめて重要であります。

必要な道路整備や維持管理に、多くの一般財源を投入している実情の中で、道路特定財源が一般財源化されることは、本市の道路行政に多大な影響を及ぼすものと危惧しています。

国におかれましては、地方の道路整備や維持管理を計画的に進めるため、必要な財源を安定的かつ十分に確保するとともに、新たな道路整備計画の策定にあたっては、地方の遅れている道路整備状況を踏まえ、地方自治体の意見を十分に反映することを要望致します。

○現状

・本市では、平成 17 年 2 月に中部国際空港が開港し、道路アクセスとして、「知多横断道路」が整備された。現在、都心と空港を結ぶ自動車専用道路は、1 路線のみ。
また、地方と空港を結ぶ路線の追加が望まれている。

・道路維持管理業務は、市の一般財源で沿線の草刈りや道路補修を行っている。
維持管理業務に対する市民の要望が高くなっているが、財源不足により十分な管理が出来ていない。

・地元から信号機設置が望まれている箇所では、公安委員会の予算待ちの状況となっている。

○課題

・空港アクセス道路の追加として、「西知多道路」の早期事業化。
知多半島南部地域からのアクセス強化(4車線化)として、「国道247号バイパス」の整備促進。

・財源不足を解消するために、維持管理業務へ道路財源を投入する事ができないか。

・公安委員会とは別の信号機設置の予算措置が出来ないか。

私たちは、生活にゆとりと豊かさを求め、人や自然とのふれあいを大切にしながら、心豊かに暮らしたいと願っています。

私たちのまちには、固有の歴史や自然があり、暮らしに根ざした生活文化があります。私たちは、これらをまちの個性として大切に守り、育てていかなければなりません。

また、私たちのまちには国際空港があり、広域的な交通基盤や様々な機能整備により、空港を核とした人・物・情報の交流が活発化、広域化していくことが予想され、こうした交流を生かしながら、空港と共生するまちづくりを進める必要があります。

私たちは、このような新たな社会環境の中で、より豊かで個性的な生活文化をはぐくむとともに、それらを全国や世界に発信し、魅力的で感動に出会える都市を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

例③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

愛知県常滑市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	地域住民が参加するアダプトプログラムにより、道路環境美化活動(花壇作り)に対して、補助が出来ないか。	花の苗等の材料代の自己負担が軽減し、参加者が増加する。 参加者の増加により、美しい街並み形成が図られる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	交通安全上、道路構造例に則り道路照明灯を設置している。 近年、不審者が増加し防犯灯(市単独費)を設置しているが、道路照明灯と同等の補助が出来ないか。	道路照明灯と同等の防犯灯が補助を受けると、少しでも灯数が増えることで、夜道が明るくことで安心・安全に通行でき、防犯件数も少なくなる。	